

CapeOX+Bmab療法

【対象症例】

切除不能進行・再発大腸癌

【登録診療科】 消化器外科、外科

【治療計画】

順番	薬剤名	推奨投与量	投与時間	投与日
	カペシタビン	2000mg/m ² /日		day1 夕食後からday15 朝食後(※1)
①	デキサメタゾン	9.9mg	30分	day1
	グラニセトロン	3mg		
②	ベバシズマブ	7.5mg/kg	(※2)	day1
	生理食塩水	100mL		
③	生理食塩水	50mL	フラッシュ	day1
④	オキサリプラチン	130mg/m ²	120分	day1
	5%ブドウ糖	250mL		
⑤	生理食塩水	50mL	フラッシュ	day1
※1 2日目(朝食後)～15日目(夕食後)に投与する方法もある				
※2 初回90分、初回にて忍容性が良好なら2回目60分、2回目の忍容性良好なら3回目以降30分				
【投与スケジュール】1コース 21日間				

CapeOX+Bmab療法(大腸)

【対象症例】 切除不能進行・再発大腸癌

【登録診療科】 外科

【治療計画】

順番	薬剤名	推奨投与量	投与時間	投与日
	カペシタビン	2000mg/㎡/日		day1 夕食後からday15 朝食後(※1)
①	デキサメタゾン	9.9mg	30分	day1
	グラニセトロン	3mg		
②	ベバシズマブ	7.5mg/kg	(※2)	day1
	生理食塩水	100mL		
③	生理食塩水	50mL	フラッシュ	day1
④	オキサリプラチン	130mg/㎡	120分	day1
	5%ブドウ糖	250mL		
⑤	生理食塩水	50mL	フラッシュ	day1

※1 2日目(朝食後)～15日目(夕食後)に投与する方法もある

※2 初回90分、初回にて忍容性が良好なら2回目60分、2回目の忍容性良好なら3回目以降30分

【投与スケジュール】 1クール 21日間

【禁忌】(必ず確認してください)

- ・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- ・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人
- ・喀血(2.5mL以上の鮮血の咯出)の既往のある患者
- ・重篤な腎障害(Ccr;30mL/min未満)のある患者
- ・重篤な骨髄抑制のある患者
- ・機能障害を伴う重度の感覚異常又は知覚不全のある患者
- ・他のフッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍剤(これらの薬剤との併用療法を含む)を投与中の患者

【休薬・中止規定】

- ・各コースの投与開始前に末梢神経障害のグレードを確認し、グレード2以上の場合はオキサリプラチンをグレード1以下に軽快するまで休薬する
- ・Grade3以上のアレルギー症状が出た場合は中止する
- ・タンパク尿を観察し、タンパク尿+2以上は原則休薬を考慮する
- ・大きな手術の術創が治癒していない場合は治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合を除き本剤を投与しないこと

【減量基準】

〈血液毒性時〉

- ・グレード3以上の血液毒性が発現した場合には休薬する*1グレード1以下に軽快後、以下の投与基準に従って投与再開する

Grade	発現回数	カペシタビン	オキサリプラチン	ベバシズマブ
Grade2	1	変更なし	変更なし	変更なし
	2	減量段階1	変更なし	変更なし
	3	減量段階2	変更なし	変更なし
Grade3	1	減量段階1	100mg/㎡	変更なし
	2	減量段階2	85mg/㎡	変更なし
Grade4	1	投与中止もしくは減量段階2*	投与中止もしくは85mg/㎡	投与中止もしくは変更なし

添付文書の記載:グレード2以上の副作用が発現した場合、グレード0-1に軽快するまで休薬する

*治療継続が患者の利益に最善であると判断された場合

〈腎障害時〉

Ccr	カペシタビン
51～80mL/min	減量不要
30～50mL/min	減量段階1
30mL/min未満	投与禁忌

オキサリプラチンは中程度の腎機能障害(Ccr≥20mL/min)

であれば減量の必要はない

〈悪心・嘔吐発現時〉

Grade	発現回数	カペシタビン
Grade2/3	1	減量不要
	2	減量段階1
	3	減量段階2
	4	投与中止もしくは減量段階2
Grade4	1	投与中止もしくは減量段階2

オキサリプラチンはGrade3で100mg/㎡ Grade4で中止or 100mg/㎡

〈減量段階表〉

体表面積	減量段階1	減量段階2
1.41㎡未満	900mg	600mg
1.41㎡以上1.51㎡未満	1200mg	
1.51㎡以上1.81㎡未満		900mg
1.81㎡以上2.11㎡未満	1500mg	
2.11㎡以上		1200mg

〈食欲不振発現時〉

Grade	発現回数	カペシタビン
Grade2	1	減量段階1
	2	減量段階2
Grade3	1	減量段階1
	2	減量段階2
Grade4	1	投与中止もしくは減量段階2

オキサリプラチンはGrade3で100mg/㎡

Grade4で中止or 85mg/㎡

〈ゼロード適正使用ガイドより〉

【注意事項】

- ・ベバシズマブとブドウ糖溶液を混合した場合、ベバシズマブの力価の減弱が生じるおそれがあるためブドウ糖溶液との混合を避け本剤とブドウ糖溶液の同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと
- ・本剤とソルノアリンナリウムとの併用により、血液凝固能検査値異常、出血が発現する恐れがある
- ・ベバシズマブは、治療開始時から10%以上の体重変動が認められた場合、投与量の補正を検討する

【患者の緊急受診(連絡)事項】

- ・38℃以上の発熱
- ・食欲不振が長く続くとき
- ・1日3～4回の下痢
- ・長く続く空咳とひどい息切れ
- ・身の回りのことができない程の倦怠感
- ・急な嘔気・嘔吐

2017年5月1日 作成

・10分～15分続く鼻血

・手、足に水疱、強い痛みがあるとき

【緊急時連絡先】イムス三芳総合病院(夜間:緊急連絡先、日中:外科外来)

GradeはCTCAE v 3.0に準ずる

プロトコール開始年月日

2017年05月01日

プロトコール責任者

外科 三原 良明